



平成29年度 加古川中央市民病院

地域連携会議が開催されました

6月8日(木)18時より加古川プラザホテルで開催しました平成29年度加古川中央市民病院 地域連携会議は、地域医療機関の皆様から合計214名のご参加を賜り、盛況のうちに幕を閉じました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

今年度は昨年までと異なり、第1部を学術講演会とし、東京医科歯科大学大学院の川渕孝一教授をお招きしまして、地域包括ケアに関する成功の鍵について兵庫県の実情を踏まえてご講演いただきました。第2部の意見交換会でも内容を変更し、診療科毎の特徴や強みのほか、診療支援部門の支援の実際についてモニターを活用し、担当者より説明を行いました。そのため、各診療科・診療支援部門のことがより細やかにお伝えでき、例年より活発な意見交換が行われましたことと存じます。

なお、本会議の開催にあたり、加古川医師会様、高砂市医師会様、明石市医師会様におかれましては共催を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

不慣れなことで不手際な点が多々あったことと存じますが、ご容赦頂ければ幸いです。今後とも、地域医療連携の益々の発展のため、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



きらり

vol. 7
2017年6月



加古川市民病院機構 理念

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます



患者さんの判断・選択を
最良のものにする為に

Contents

巻頭言 新病院とともに成長する「看護部」	2
診療科紹介	3
〈特集〉看護部のご紹介	4-5
登録医紹介	6-7

連携室ニュース 8

新病院とともに 成長する「看護部」



加古川市民病院機構 理事
加古川中央市民病院 副院長(兼)看護部長 **はな おか すみ よ**
花岡 澄代

皆様の暖かい支援のもと、平成28年7月1日加古川中央市民病院は開院しました。心より感謝申し上げます。平成29年4月には、初めての新入職員145名を迎え、職員一同、地域医療に貢献できる病院づくりを目指しております。今後ともご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

看護部は6つ基本方針をあげ、新たな看護部を築いていきたいと思っております。

- ① 患者の思いを尊重し、意思決定を支援します。
- ② 根拠に基づいた知識・技術をもとに、最適な看護を提供します。
- ③ チーム医療推進における担い手となります。
- ④ 専門職として自律した看護師を目指します。
- ⑤ 人として成長し、豊かな人間性が育まれる看護部を作ります。
- ⑥ 健全な病院経営に参画します。

この方針は、患者さんが選んだ「判断と選択」を最良のものとするために、看護師がどのように支援していくかを方向付けたものです。この方針のもと、倫理観、自律性、豊かな人間性を育む人づくり・環境づくりに努めています。

看護職員は775名で、20代、30代、40代の看護師が均等に在籍することが特徴的で、世代間の交流も活発です。年齢にかかわらず継続して働けるのは、地域と一体化した病院であり、生活の中に仕事があるからだと思ひます。現場の看護師は率先した役割意識が高く、どんな厳しい場面でも真摯にうけとめ、患者さんのために看護師としてどう行動すべきか悩み、考え、前向きに看護に取り組んでいます。自立心が芽生えれば誰でも変わる、成長できると改めて感じています。

また地域医療支援病院の看護部としては、地域との連携を強化しながら地域包括ケアシステムの実現を目指していきたいと思ひます。患者支援センターでは、入院支援室と地域連携室で役割を分担し、紹介患者の受け入れや、退院に向けての転院先紹介、在宅療養支援、医療相談、社会福祉相談などを行っています。各病棟担当の退院支援専任の看護師は、多職種と情報共有を行い入院早期からの退院支援・退院調整に取り組んでいます。地域の医療機関の医療従事者や社会福祉に携わる専門職の皆さまと連携を図り、患者さんの医療と暮らしの支援をしていきます。



乳腺外科

乳腺外科の開設について

加古川中央市民病院が開院して1年を迎えようとしております。各診療科とも診療体制が確立して診療内容も充実してきており、今後も当院の地域医療に対する一層の貢献が求められるようになっております。私の所属する消化器外科でも、医師を増員し12名体制となり消化器外科領域におけるあらゆる疾患を24時間カバーできるようになりました。

さて、近年、乳癌の罹患率は年々増加し、乳癌は女性が罹患する癌の中で最も多くなっております。乳癌治療の進歩にもかかわらず乳癌死亡率は増加し続けているのが現状であり、乳癌の制圧には質の高い診断や標準的治療の実践が求められております。治療に関しては、手術のみではなくホルモン療法・化学療法・放射線療法・緩和医療などを用いた集学的治療を行う必要があり、各科と連携しながら治療を実践していくことが必要です。

そのなかにあつて、乳腺疾患においては当院としてはこれまで十分な診療体制を提供できておらず、東播磨地域では県立加古川医療センターに1極集中せざるを得ないのが現状でした。この状況を少しでも改善すべく4月から非常勤ではありますが、神戸大学の谷野裕一特命准教授に週1回火曜日に診察をお願いしております。谷野先生のご専門は乳腺疾患一般で、当院では乳癌に対する診断治療を中心に診察をされております。前任の北里大学では乳腺科の立ち上げにご尽力されており、現在は神戸大学の乳腺内分泌外科の責任者として診療のかたわら神戸大学関連病院における乳腺外科の構築に取り組まれております。

現在のところ、週1回の非常勤の勤務であり対応できる患者数にも診療内容にも限界がありますので、現状は、紹介状のある患者さんを中心に診察を行っており、乳癌の1次検診は行っておりません。来年度を目標に乳腺外科医の常勤体制を整える予定ですので、しばらくは近隣の先生方にご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



加古川市民病院機構 理事
加古川中央市民病院 副院長
(兼)外科主任科部長
(兼)消化器外科主任科部長
(兼)患者支援センター長
(兼)地域連携室長
(兼)入院支援室長

かね だ くに ひこ
金田 邦彦



feature

特集

看護部のご紹介

患者さんの判断・選択を最良のものにする為に

病診連携を推進する



看護体制



ヘリポート

加古川中央市民病院

患者さんの判断・選択を最良のものにする為に、院内各部署担当の看護師がその役割に責任を持って看護を実践しています。
また各部署の看護師間の連携と多職種とのチーム医療を推進しながら、入院早期から退院支援・退院調整を行い、地域の医療機関に繋げています。ここでは、各部署の看護師の役割についてご紹介いたします。



看護部 副部長
(兼)患者支援センター 副センター長
(兼)がん相談支援室 副室長
さる わたり
猿渡 かおり



地域連携室看護師の役割

患者さんの退院後の生活の場となる療養先について病棟で意思決定が行われた後、患者さんの病状と入院前・後の生活を踏まえて、できるだけ早期に退院調整を開始しています。その時、院内の医療従事者はもちろん、在宅医・かかりつけ医、訪問看護師、ケアマネージャーなどの院外の多職種とも連携を密に図り、患者さんが不安なく退院し退院後の生活が豊かなものになるよう心掛けています。

病棟看護師の役割

入院された患者さんの診断・治療や検査が安全・安楽に進むよう、治療計画とともに看護計画を立案し、看護を提供しています。また、患者さんやご家族が、病気や入院をどのように受け止め、退院後の生活をどのようにイメージされているのか共に考え、意思決定を支援しています。そして、退院後の生活を安心して送っていただくために、医師や地域連携室など多職種と連携を図り、チームで退院支援に取り組んでいます。

認知症ケアチーム

チーム医療

その他、フットケアチーム・緩和ケアチーム・呼吸ケアチーム・リエゾンチーム・NSTチームなど看護師が担い手となり、患者さんとともに協働するチーム医療を推進しています。

心不全チーム

外来看護師の役割

外来通院患者さんが診察や各検査・化学療法を安心して安全に受けられるよう関わっています。外来受診後入院となれば、必要な情報を入院支援室又は直接病棟看護師と連携し、入院への支援を行っています。また、看護外来として専門領域の認定看護師と共に連携してフットケア外来、ストーマ外来、リンパ浮腫外来を行い、その人に合わせた指導を心掛け、取り組んでおります。

入院支援室看護師の役割

入院が予定された患者さんご家族に、安心して入院治療を受けていただくために、不安や疑問についてゆっくりお話を伺い、質問にお答えしながら説明を行っています。がん相談など専門的介入が必要な場合は、専門看護師や認定看護師へ情報を伝えています。また、早期から退院後の生活を考えることができるように、かかりつけ医やケアマネージャー、介護保険サービス利用など、入院前の生活について確認をさせていただき、その情報を病棟や地域連携室に伝えています。

当院と連携いただいている登録医療機関をご紹介します。



はしもとキッズクリニック

診療科 小児科
 駐車場 13台
 所在地 加古川市加古川町寺家町400-2

TEL. 079-421-1235



院長 橋本 直樹 先生

平成22年に橋本小児科医院を継承し、はしもとキッズクリニックとしてリニューアルオープンしてから7年目を迎えました。加古川中央市民病院の皆様には、東西の市民病院の頃より大変お世話になっております。紹介患者様をいつでも快く引き受けて下さるうえに、患者様の満足度も高く、安心して日々の診療させていただくことができ、大変感謝しております。

当クリニックでは、一般小児科診療に加えて小児在宅訪問

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:30~12:00	●	●	●	往診	●	●	—
午後15:00~16:00*	●	●	●	—	●	—	—
午後16:00~18:30	●	●	●	—	●	—	—

*15:00~16:00は予防接種・乳幼児健診(要予約)

診療を行っております。医療の進歩に伴い、重い障害を抱えた子どもたちが、医療的ケアを受けながら家族と一緒に暮らすことができるようになりました。しかし、それをささえる小児在宅医療は、十分な体制が整っていないのが現状です。市民病院の皆様とのさらなる病診連携により、より良い環境を整えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



ふじおか腎泌尿器科クリニック

診療科 泌尿器科
 駐車場 10台
 所在地 加古川市加古川町篠原町111-201

TEL. 079-421-0057



院長 藤岡 一 先生

JR加古川駅北側にある医療ビル「おいしゃさん」で平成21年10月より泌尿器科として診療いたしております。前身であります加古川市民病院では、平成12年より3年間勤務いたしました。

当院では、尿路感染症(膀胱炎など)男性排尿障害(前立腺肥大症など)女性排尿障害(尿失禁など)尿路結石症(腎結石など)尿路悪性疾患、前立腺癌や膀胱癌などの診療や、血尿などの精査をいたしております。

疾患の中にはCT、MRIなどの画像診断、また前立腺生検などの入院精査、尿路結石や悪性疾患など手術加療を要する疾患がございます。精査、手術加療が必要な場合には

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:30~12:30	●	●	—	●	●	●	—
午後16:00~18:00	●	●	—	●	●	—	—

加古川中央市民病院へ紹介させていただいております。充実した医療体制の加古川中央市民病院が近くにあり安心して心強いかがりです。

加古川地域の泌尿器科かかりつけ医として病診連携させていただき地域の皆様に信頼され安心して来院いただけるよう努めてまいりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



加古川ともながクリニック

診療科 内科/感染症内科/アレルギー科/美容内科
 駐車場 協同駐車場50台(1時間無料券)
 所在地 加古川市加古川町寺家町47-1
 ファーミンインテリジェントビル4F

TEL. 079-456-1388



院長 友永 達也 先生

平成25年にJR加古川駅の南側、ベルデモール商店街のファーミンインテリジェントビルの4階に開業しました。開業するまでは神戸大学医学部附属病院のリウマチセンターに勤務しておりました。当院は、内科、アレルギー科、感染症内科、美容内科として私以外にも、非常勤医師複数名で診療を行っております。平成29年4月より、金曜日の午後には神戸大学医学部附属病院リハビリテーション科の医師が診察に当たっております。

当院の特徴としては、基本的に予約制を導入し、患者さんの待ち時間が少なくなるようにしております。また小さなクリニック

であるため大きな機械を用いる検査は行っていませんが、遅延型アレルギーなど特殊検査、遺伝子検査等を行っております。当院では複数医師による幅広い科に渡る知識で、何科に行けば良いかわからない患者さんが、適切な科を受診出来るように交通整理を行うポジションとしてのクリニックにしております。

当院では外国人患者さんの受け入れを積極的に行っていますが、英語が喋れない外国人患者さんの場合は、通訳の方を連れて来て頂けると助かります。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	●	—	●	●*	—
午後16:00~18:45	●	—	●	—	●	—	—

*初診は18:30まで。

*日曜日午前中診察希望の方は、稲美町の友永クリニックにご来院ください。*非常勤医師複数名



田淵クリニック

診療科 肛門科
 駐車場 サンライズビル駐車場
 所在地 加古川市加古川町溝之口507
 サンライズ加古川ビル3F

TEL. 079-422-1160



院長 田淵 正人 先生

平成17年6月にJR加古川駅前に肛門科専門のクリニックとして開業いたしました。

肛門疾患の患者さんが大部分を占め、肛門からの出血で来院される方が多いのですが、大腸疾患が疑われる際には、出血部位の確認と鑑別が必要で、適時、下部内視鏡検査(CS)を施行しております。開設当初から内痔核治療として、内痔核硬化療法(ALTA治療)を日帰りで行っておりますが、また、適応とならない症例、大量出血があり原因疾患が不明で緊急を要する症例、止血状態でも再度出血が心配される方には入院、精査が必要となります。入院手術が必要な場合の相談に、加古川中央市民病院は、地理的にも近く

大変心強く感じている次第です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	—
午後15:00~18:00	●	●	●	—	●	—	—

